

第 2 次豊島区環境基本計画の骨子（方向性）

1. 計画構成の見直し

（1）見直しの考え方

現行計画の要素は、国や東京都の環境基本計画に含まれる要素と大きな違いはなく、概ね問題ないと考えられることから、次期計画においても基本的要素は踏襲する。

次期計画においては、「豊島区基本計画 2016-2025」に示された区の施策の方向性や、SDGs 等の国際社会動向など、新たに必要とされる事項を考慮し、区が重点的に取り組む事項を明確にする必要がある。

また、区民にとっての読みやすさやわかりやすさへの配慮が求められていることから、区の重点施策等の伝え方を工夫することが必要である。

以上の課題等を踏まえ、次期計画の構成を以下の方針により見直すこととする。

表 1 次期計画の構成の見直し方針

対応①	現行計画の基本的要素は踏襲する。
対応②	環境都市像・基本目標を前段に明示的に位置づける（第 3 章）。
対応③	従来の環境分野ごとの施策体系を整理するとともに、主要なプロジェクトを後段に位置づけ、成果指標及び各主体が担う役割を示す（第 4 章）。
対応④	わかりやすさの向上のため、章立て、項目の並び順等の一部変更する。
対応⑤	各章の関連データ等の詳細情報は資料編にまとめて記載する。

(2) 計画の構成案 (新旧対応表)

第2次豊島区環境基本計画 (次期計画)		地球温暖化対策実行計画	生物多様性地域戦略
第1章 計画策定の背景			
1. 環境基本計画をとりまく動向 2. 前計画のふりかえり 3. 策定における課題 4. 策定のポイント	⑤詳細データを資料編にまとめる		
第2章 計画の基本的事項			
1. 計画の目的 2. 計画の位置づけ 3. 計画期間 4. 計画の対象範囲 5. 推進主体		○ (位置づけ)	○ (位置づけ)
第3章 目指すべき環境都市像と基本目標			
1. 目指すべき環境都市像 2. 基本目標		○ (定量的な削減目標)	○ (定性的な目標)
議題2にて議論			
第4章 施策と取組み			
1. 施策体系 2. 分野別の施策の方向 3. 環境都市像の実現に向けた重点プロジェクト		○ (施策と取組み)	○ (施策と取組み)
議題3にて議論			
第5章 計画の推進			
1. 計画の進行管理 2. 成果指標 (総括)		○ (成果指標)	○ (成果指標)
資料編			
・計画策定の背景に関する詳細 ・分野別の環境の現状などの詳細 等			

豊島区環境基本計画 2014-2018 (現行計画)		
	地球温暖化対策実行計画	生物多様性地域戦略
第1章 豊島区環境基本計画について		
1. 中間見直しの背景 2. 計画の位置づけ 3. 計画期間 4. 計画の対象範囲 5. 推進主体 6. 国や東京都の動向	○ (位置づけ)	○ (位置づけ)
第2章 目指すべき環境都市像と計画の体系		
1. 目指すべき環境都市像 2. 体系の見直し 3. 後期計画の構成		
第3章 分野別の施策の方向		
I 低炭素地域社会の実現に向けて 1. 削減目標の考え方について 2. 施策の方向 3. 各主体の役割と成果指標		
II 自然と共生する都市の実現に向けて 1. 豊島区における生物多様性の保全 2. 施策の方向 3. 各主体の役割と成果指標		
III ごみの減量と循環型社会の実現に向けて 1. 区民、事業者、区が連携して取り組む質の高い循環型社会 2. 施策の方向 3. 各主体の役割と成果指標		
IV 環境の保全に関する取組み 1. 安全・安心で快適な都市空間づくりを目指して 2. 施策の方向 3. 各主体の役割と成果指標	○ (定量的な削減目標、施策と取組み、成果指標)	○ (将来像、施策と取組み、成果指標)
V 豊島区的环境配慮率先行動 1. 全職員による環境配慮行動の実施 2. 施策の方向 3. 各主体の役割と成果指標		
VI 分野横断的な取組み 1. 地域の力を活かし、エコの「わ」を広げるために 2. 施策の方向 3. 主な取組み		
第4章 計画の推進と見直し		
1. 計画の推進 2. 計画の進行管理 3. 環境年次報告書 4. 計画の見直し		
資料編		
・計画改定の経緯 ・環境審議会名簿・豊島区の現況・温室効果ガスデータ・用語集 等		

④章立て、項目の並び順等の一部変更

①基本的要素を踏襲

②環境都市像・基本目標を示す

③環境分野ごとの施策体系を整理

③重点プロジェクトを立ち上げ、成果指標と各主体が担う役割を示す

①基本的要素を踏襲

⑤詳細データを資料編にまとめる

①基本的要素を踏襲

2. 計画の骨子（方向性）

目次	方向性（内容）	前計画からの 主な変更点	審議会での 議論の タイミング
第1章 計画策定の背景			
1. 環境基本計画をとりまく動向 2. 前計画のふりかえり 3. 策定における課題 4. 策定のポイント	<ul style="list-style-type: none"> SDGs、国等の関連計画等の主要な動きを要約 前計画の進捗、主な成果を要約 基礎調査から抽出した主な課題を要約 課題等を踏まえた策定のポイントを要約 	<ul style="list-style-type: none"> 背景となる事項を章立てにして説明する 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第1回</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第2回</div>
第2章 計画の基本的事項			
1. 計画の目的 2. 計画の位置づけ 3. 計画期間 4. 計画の対象範囲 5. 推進主体	<ul style="list-style-type: none"> 目的、位置づけ、対象範囲、推進主体は前計画を踏襲 計画期間：2019～2030年度 	<ul style="list-style-type: none"> 主要な変更無し 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第1回</div>
第3章 目指すべき環境都市像と基本目標			
1. 目指すべき環境都市像 2. 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> 関連動向等を踏まえた、区民と共有できる環境都市像を掲げる 環境分野別の柱（脱炭素、自然共生、資源循環、快適環境）と、それを分野横断的に支える共通の柱（連携・協働）を加えた計5つの基本目標を示す 	<ul style="list-style-type: none"> 都市像と基本目標の目指す姿をより明示的に示す 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第2回</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第3回</div>
第4章 施策と取組み			
1. 施策体系 2. 分野別の施策の方向 I 脱炭素 II 自然共生 III 資源循環 IV 快適環境 V 連携・協働 3. 環境都市像の実現に向けた重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 新たな施策体系図として整理 各分野の施策の方向と施策の内容を示す <ul style="list-style-type: none"> ■温室効果ガス削減目標 ■生物多様性地域戦略の目標 各基本目標に重点プロジェクトを位置づける 重点プロジェクトの指標、各主体が担う役割を示す 	<ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクトを立ち上げる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第3回</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第4回</div>
第5章 計画の推進			
1. 計画の進行管理 2. 成果指標（総括）	<ul style="list-style-type: none"> 計画を推進する組織体制と、各主体の役割を明確にし、PDCAサイクルを示す 指標を総括する 	<ul style="list-style-type: none"> 進捗管理の手法を明確に示す 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第5回</div>
資料編			
<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に係る背景、環境の詳細データ等、用語集等 			